



ラジオ少年だった私にとって小中学生の時に読んでいくつかの少年向け技術雑誌のうち、とりわけ電波新聞社の月刊誌「ラジオの製作」(通称「ラ製」)は私にとってまさにバイブルでした。回路図は読めませんでしたが、わかりやすい実体配線図を見ながら作れるラジオや周辺機器の製作記事、そしてもちろん HCJB など海外短波放送を中心とした BCL の記事が満載でした。有名な山田耕嗣先生による別冊の「BCL マニュアル」もベストセラーだったと思います。

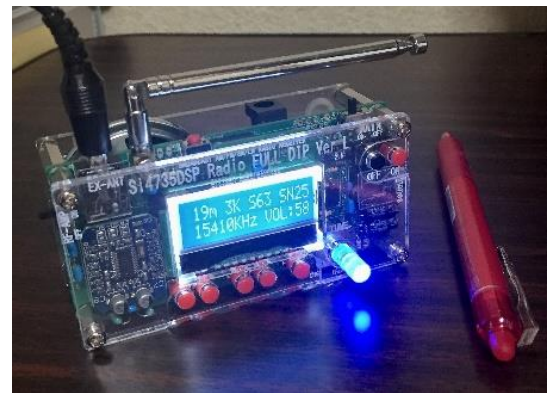
「ラジオの製作」編集長として読者に親しまれていた大橋太郎さん(写真上左・現電波新聞社特別相談役・「電子工作マガジン」編集長)に私が初めて



お会いしたのはあれから40年以上もたったほんの最近のこと...私はずっと仕事の関係で北米に単身赴任していたのですが、昨年からは日本で仕事をするようになり、夏にはハムフェアに参加して大橋さんの特別講演を聴く機会がありました。自分も一緒に歩んできた道なので当時を振り返りながらひとつひとつが懐かしかったです。そこで、「ラ製」の愛読者で BCL ファンだった全国の方々にも大橋さんの声を聞いて頂きたいと思い東京五反田の電波新聞社に直接お邪魔してインタビューさせていただきました。いろいろとラジオに関する興味深いお話しをお伺いすることができましたのでぜひお聞きください。(新春対談:2019年1月5日&12日放送)

私には小学生の頃、ラジオ雑誌の記事を読みながらトランジスタラジオを自分で作り、完成したあと音が実際に出了時の感動はいつまでも忘れられません。

最近「DSP ラジオ」(DSP=デジタル信号処理)が開発されています。これまでとは全く異なる回路構成になっているようです。部品も驚くほど小さいので私は視力の衰えと戦いながらも、細かい部品を基板に取り付けて、非常に小型の DSP ラジオを何とか完成させました(写真)。完全デジタル表示、スキャンも可能です。このラジオの開発設計者は大阪・河内長野市の山口晶規さんです。山口さん製作のプリント基板とアクリルパネルに自分で部品を取付けて完成させました。15410kHz の HCJB/Reach Beyond を強力に受信中です。



(本品についてのお問合せは山口さんのコールサイン JG3PUP で検索して下さい。)

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
1月05日	新春対談:大橋太郎 x 尾原栄 (1)	1月06日	新年特別メッセージ(新しい歌を)
1月12日	新春対談:大橋太郎 x 尾原栄 (2)	1月13日	「お便り交換の時間」スペシャル(1)
1月19日	南米スペイン語のすすめ 寿里順平教授(1)	1月20日	「お便り交換の時間」スペシャル(2)
1月26日	南米スペイン語に魅せられて 寿里順平教授(2)	1月27日	聖書遊覧バス 旧約聖書詩篇40篇

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間:日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

